

茨陵会

茨木工業・工科高校
同窓会
第4号
発行：春日5丁目6-41
電話：072-623-1331



茨陵会会長
小池隆彦

六月九日に同窓会理事會にて、第三代同窓会会長に就任いたしました、一期生電子科の小池隆彦です。精一杯頑張りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。前会長高橋様を初め理事の皆様には、茨陵会新聞の発行を三回と茨陵会ホームページの作成、並びに一期生四十周年同窓会開催といった振興に力を振るわれ申し上げます。今年の三月

で、茨木工業高校の卒業生は最後となりましたが、来年から茨木工業の良き伝統を引き継いだ茨木工科高校の卒業生が茨陵会に入会してきますので、さらに会員の交流の場を広めるサポートを積極的に進めたいと考えています。

私の本校入学の動機は母の「コンピュータを勉強したら」というアドバイスでした。当時本校は最新の設備を整えた話題の新設工業高校でした。私は社会人になり今日までコンピュータの仕事をしてきましたが、パソコン・携帯電話・インターネットがこんなに普及するとは考えもしていません。

今後は茨陵会を茨木工業高校卒業生と茨木工科高校卒業生の同窓会として、茨陵会ホームページも活用しながら、会員相互の連絡を保ち、友好を温めて、母校の発展に助成するよう努力いたしますので、OBの皆さんはじめ茨陵会を支援して下さる皆さん方の更なるご支援をよろしくお願い致します。



副会長
川崎正夫

茨陵会の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より同窓会、母校の近況など気になりつつも事業、仕事、家庭環境と忙しく過ごして居られる事と思えます。茨陵会新聞、ホームページと本校在籍の理事の皆様のご協力と会員の皆様の寄付によりまして今回、第四号の発行となり、心より感謝を申し上げます。

着任あいさつ

このたび茨陵会副会長を僭越とは思いましたが、お引き受けいただきました。小池会長をはじめ理事会役員の皆様に御迷惑をかけないよう努力いたしますので、よろしくお願ひ申し上げます。

私、昭和四十七年機械工学科を七期で卒業、写真工学科を織維大で学び昭和五十二年、茨木で開業しまして、アナログからデジタルへと仕事上はスムーズに移行も、その後ソフトの進化には遅れを取って、いつのまにか五十三歳。小、中学校PTAや健全育成など教育の側面？に、昨

まで携わって、三つ子の魂一〇〇まで、の意味を理解、たまたま迷わず、二十歳に成る子供達と妻に感謝と反省の親父です。
三島由紀夫の割腹、オイルショック、浅間山荘占拠と騒がしい時代の中、進路で悩んでいた当時、入学願書を持参、受験を奨めてくれたのは、クラブの先輩でした。
当時も卒業後も、沢山の方々にお世話に成り、少しでもお返ししたいの思いも込めまして、茨陵会、工業・工科高校同窓生の友好と母校の発展を皆様と共に努力いたします。

平成19年4月 茨木工科高校全日課程 完成

平成19年3月 茨木工業高校全日課程 最後の卒業式



茨木工業高等学校全日課程 最後の卒業式

例年だとカイロがほしい卒業式ですが、今年は暖冬でストーブもいらぬぐらい暖かい式となりました。工業高校として最後になる四十二期生六クラスの代表が元氣よく校長先生より卒業証書をうけ取りました。皆勤賞・外部表彰(団体表彰・ジュニアマイスター顕彰)等、三年間勉強や資格取得等様々な方面で活躍した生徒も表彰されました。答辞の時は三年間の行事などがスクリーンに映写されました。入学間もない頃の校外学習(宮津)、二年生の修学旅行(蔵王)、体育祭・文化祭など懐かしい映像が映し出されました。答辞ではいろいろお世話になった担任の先生・保護者をはじめいろいろの先生・職員への感謝と、今後の目標が語られました。



引き継ぎ式

式が行われ、生徒代表二名と二人の教頭先生が校旗を引き継ぎました。旗と共にすばらしい伝統を引き継いでもらいたいと思います。
その後、卒業生たちはHR教室で最後のホームルームを行いました。卒業証書を担任より授与され、保護者と共に高校時代の思い出や今後の抱負を語り合いました。



大阪府立茨木工業高校 卒業生総数

機械工学科	6,393名
電子工業科	4,175名
工業化学科	2,004名
環境化学科	507名
計	13,079名

茨陵会公式ホームページ

<http://siryokai.dyndns.org/>

活躍する各科・系の様子を紹介します。

高校生科学グランドコンテスト最終選考会

環境倶楽部 審査委員長賞を受賞!

二〇〇六年十一月五日、大阪市立大学で開かれた第三回高校生科学グランドコンテストで、三十三チームの中から上位四位に選ばれ、審査委員長賞に輝いた。本コンテストは、さまざまに工夫した化学実験を通じて物質や生命の謎を探求した研究成果を発表し競い合うもので、参加チームのほとんどがスーパースサイエンスハイスクールの中、本校はよく健闘した。

テーマは「酵素法によるバイオディーゼル燃料に関する研究」。本テーマに取り組んだのは、環境化学システム系に導入されたばかりの植物油燃料化プラントを見て、このプラントでできた燃料で走る車を自分たちで作りたいという部員の一言であった。

それからは、燃料の製造、分析、カートの製作にと、環境倶楽部の部員十人と顧問が夏休みや休日を返上して取り組み、徹夜をすることもしばしばあった。燃料の製造・分

電気系の紹介

茨木工業高校の電子工業科は、茨木工科高校になって電気系に変わりました。電気系は、電気をエネルギーとして扱う強電気系の「電気技術専科」と電気信号として扱う弱電気系の「電子情報通信専科」のふたつの専科に分かれています。工科高校になって施設設備が沢山更新さ



が免除されますし、三年間の実務経験により第三種電気主任技術者の資格を得ることもできます。電気工事士に関しては、本年度から第二学年で全員受験の指導を行っており、本年度は筆記試験を七十六人が受験して六十三人が合格しました。実技試験の結果は出ていませんが



析については、大阪市立工業研究所、関西化学機械製作株式会社で部員が直接指導を受けるなど、高校生としては高度な内容にまで取り組んだ。また、カートについては、ヤンマー株式会社より新品の小型ディーゼルエンジンを、ゴルフ用品株式会社よりゴルフカートを提供していただくなど、多くの方々の協力により研究を進めることができた。本校機械系の先生方にもぜひいぶんお世話になった。本紙面を借りて感謝の意を表す。

なお、環境倶楽部は二〇〇五年より、環境化学科(環境化学システム系)の生

実技試験の受験者の九割は合格していそうです。三年生は希望者が筆記試験に二十九名受験して二十五名が合格しました。

また、工科高校ではものづくりに重点を置いており、全国工業高等学校長協会主催のものづくり大会の電気工事部門にも積極的に参加しています。昨年は大阪大会で優勝と準優勝になり、大阪代表として近畿大会に出場しました。本年度は惜しくも優勝は逃しましたが準優勝で、今年も近畿大会に出場します。このほかにも、放課後に電話工事やネットワーク工事の工事担当者試験の指導をしており、多くの合格者を出しています。資格指導を通して生徒が電

徒を中心に同好会からスタートし、色素増感太陽電池、光触媒、燃料電池などの研究に取り組んできた。生徒たちは近隣の大学のセミナーで学んだり、外部のイベントにも積極的に参加するなど、精力的に活動を行っている。本年度は、八月五日に愛東市で開かれる菜の花学会・楽会にて、生徒たちが研究発表を行う予定である。また、八月二日には、環境化学システム系の山本敦子教諭が「環境倶楽部の取り組み」について、日本工業化学教育研究会全国大会(愛媛県松山市)で研究発表する。

高校生ものづくりコンテスト近畿大会(化学分析部門)

環境化学科3年 松井洋平君が優勝 全国大会出場!

二〇〇六年八月二十三日、龍谷大学理工学部(大津市)で、第六回高校生ものづくりコンテスト近畿大会(化学分析部門)が行われた。本校からは環境化学科三年の松井洋平君、環境化学システム系二年の塩野義弘君、山口大貴君の三人が参加し、近畿地区三十一人の中で、食酢の定量という化学分析の卓越した技能と精度を競い合った。



その結果、松井君が念願の優勝を手にし、十一月十一、十二日に埼玉県の「ものづくり大学」で行われたものづくりコンテスト全国大会に近畿地区代表として出場した。全国大会では、全国の代表選手十人の中で、キレート滴定という専門的な化学分析の技術と精度を競い合った。僅差で上位入賞を逃したものの、よく健闘した。本校から全国大会出場は、前年度の鈴木香菜子さん(環境化学科)に続く二年連続となる。

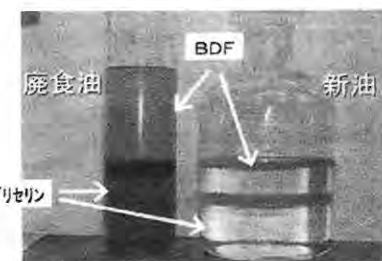


また、近畿大会では、山口君が三位に入賞した。



地球温暖化防止に役立つと注目されているバイオディーゼル燃料(BDF)に着目し、その性質や課題を研究した。BDFを作る方法はいくつかあるが、有害廃棄物を出さない酵素法を選んだ。植物油にリハセという酵素とメタノールを入れた。BDFが徐々に生成されていき、粘り気が少なくなりエンジン内で噴霧しやすい燃料に変わっていった。最短18時間で、BDFとグリセリンに分けることができ、菜種油は100%の変換率を達成。揚げ物に利用後の廃油でも87%をBDFに変えることができた。

廃油で燃料生成



審査委員長賞

「酵素法によるバイオディーゼル燃料に関する研究」
大阪府立茨木工業・工科高校
(妹尾地洋、松井洋平、嶋田匡伸、山口大貴、塩野義弘、中田和貴、梶原敬介、樽谷健祐、今井康貴、馬込和哉)

読売新聞・二〇〇六年十一月二十四日

植物油や廃油から作ったバイオディーゼル燃料

専用カートを作り、地域で販売する予定です。

機械系のとりくみ

地域との連携の様子が

新聞に掲載されました。

手作り木製遊具
保育所に贈る

茨木工高生

府立茨木工業・工科高校(茨木市春日5、小原幸四郎校長、809人)機械工学科の3年生6人がこのほど、屋外用の屋根付き木製遊具「ままご」とハウス」を作り、市立総持寺保育所(同市総持寺2、江口美恵所長、71人)にプレゼントした。

毎日新聞・二〇〇七年一月二十日付



高校生のお兄さんと一緒に仕上げ作業をする園児たち

が3、4人入れる。大きな窓が二つと、外側にはテール状のカウンターが付き、安全面からすべて木造とした。同校教諭が昨夏、この保育所で研修を受けた際「園児がこっ遊びを楽しめる遊具を作ることではできないか」と相談されたのがきっかけで、昨年9月から製作していた。

【福田隆】

ロボ製作で創造力養成



大阪科学技術センター(大阪府西區、齋藤紀彦会長、06・6443・5318)は、大阪府内の2工科

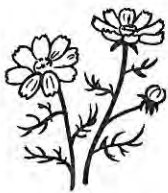
2工科高校で実技学習

大阪 科 技 センターが支援

高校で小型足歩行ロボットキットを使った実技学習の支援に乗り出した。高校生に科学技術やモノづくりへの興味を喚起し、オリジナルロボットの製作で創造力を養成するのが狙い。組み立てや操作などの授業を数回行い、07年2月小・中・生対象の発表会で成果を披露する。

操作、2足歩行のメカニズムを学習する。ロボット本体は重量約600gと小型形状。駆動部に3個のサーボモーターを搭載し組み立てやすく、高い耐久性や2足歩行が容易などの特徴がある。本体と別にフレーム改造用のアルミ板や銅板、アクリル板なども貸与し、各自がオリジナルのロボットを製作できるようにした。実技学習を前に教員や高校生、関係者の講演を含んだオリエンテーション(写真)が開かれた。各校で始める授業は教員のほか、大阪科学技術センターとワイストンの関係者が加わる。同事業は科学技術振興機構の「サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト」の支援を受けている。

平成18年11月6日 日刊工業新聞



機械系は、物づくりを中心にした授業を展開し、三年生の課題研究という授業では、地域の小学校や幼稚園・保育所との連携をはかりながら、物づくりの大切さや難しさ楽しさを学習しています。機械系のこうした取り組みは毎年のように新聞やテレビで取り上げられており、平成十八年には、上記活動を新聞記事で読まれた本校卒業生である茨木市立庄保育所所長より「人形劇の舞台や子ども達が使うひな壇を作ってほしい」という依頼がありました。このことは産経新聞にも掲載されましたが、保育士さんのイメージ図より設計図をおこし材料準備から加工・組立まですべて生徒達が作り製作、寄贈いたしました。

生徒の資格取得支援にも積極的に取り組み、昭和六十一年からガス溶接技能講習、平成十五年からアーク溶接特別教育、平成十七年からいし車取替及び試運転の特別教育を希望者全員が取得できるように選択実習にその講習を組み込み、修了者には卒業時に修了証を学校長名で発行しています。さらに、フオークリフト・玉掛け・ボイラー取扱いなどの外部団体の行う技能講習の受講案内もしています。

また、松下電工株式会社(大阪府門真市)が実施していただける物づくり支援研修にも積極的に参加し、手仕上げ研修に生徒四名、教員一名、旋盤加工研修へ教員一名が参加し教員のスキルアップにも取り組んでいます。

資格取得に対する取り組み

従前、資格取得に対する取り組みは各科で行っておりましたが、工科高校になって更に生徒の資格取得に対する意識が高まってきたように感じています。せっかく工科高校(工業高校)に来たのだから何か資格を取得したい、という生徒が増えてきたように思います。

また小型車両系建設機械特別教育(通称ユンボ)の資格取得については、学年行事として二年生の学年末頃に実施しています。

機械系独自の取り組みは、別掲しております。

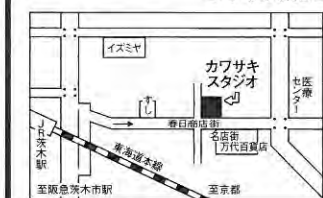
その期待に応えるべく、資格取得指導に対する取り組みが各科で乗り入れするようになりまし。具体的には全国工業校長協会が主催する「計算技術検定」については機械系、「情報技術検定」については電気系、国家試験である「危険物取扱者試験」については環境化学システム系が担当して学校全体として取り組んでいます。

環境化学システム系では、乙四類は勿論のこと、他の危険物取扱者の資格も取得できるように補習しています。

資格の種類	平成17年度	平成18年度
危険物取扱者 乙種第1類	2	4
危険物取扱者 乙種第2類	10	1
危険物取扱者 乙種第3類	4	3
危険物取扱者 乙種第4類	15	80
危険物取扱者 乙種第5類	3	3
危険物取扱者 乙種第6類	4	
消防設備士 乙類第6類	3	
ボイラー取扱技能講習	10	11
ガス溶接技能講習修了証	69	64
アーク溶接安全衛生教育	95	99
小型車両系建設機械特別教育	38	38
玉掛技能講習	2	8
第1種電気工事士	3	10
第2種電気工事士	36	11
工事担任者 アナログ3種	11	23
工事担任者 デジタル3種	17	19
フォークリフト技能講習	5	4
機械・自由研削用といしの取り替え・試運転安全衛生特別教育		26

カワサキ写真スタジオ

写真技能士 川崎正夫(第7期卒業生)



スクールアルバム 証明写真
記念撮影 ネガ付き就職用証明写真
茨木市春日1丁目13-32 春日商店街・木曜日定休
茨木 (072) 626-6590

株式会社ネットシステムズ

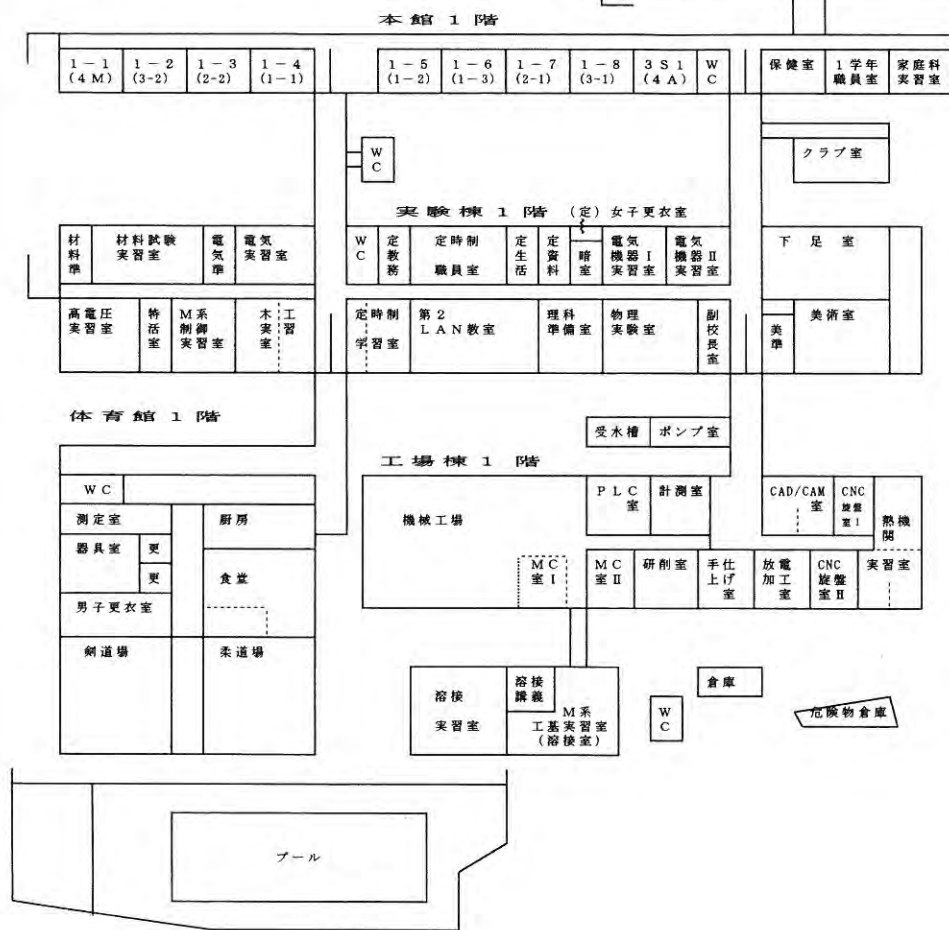


代表取締役 小池隆彦

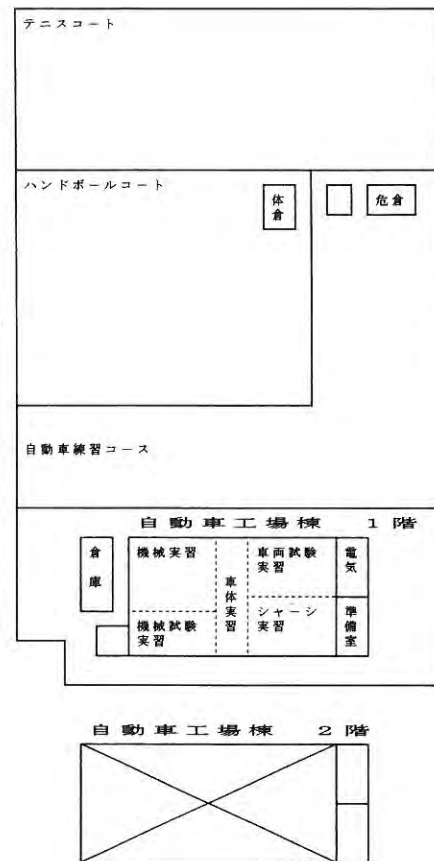
〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-2-2 東京商工会議所ビル7F
TEL 03-5220-3933 http://www.netsystems.co.jp

スキャナマークシート http://scanet.jp

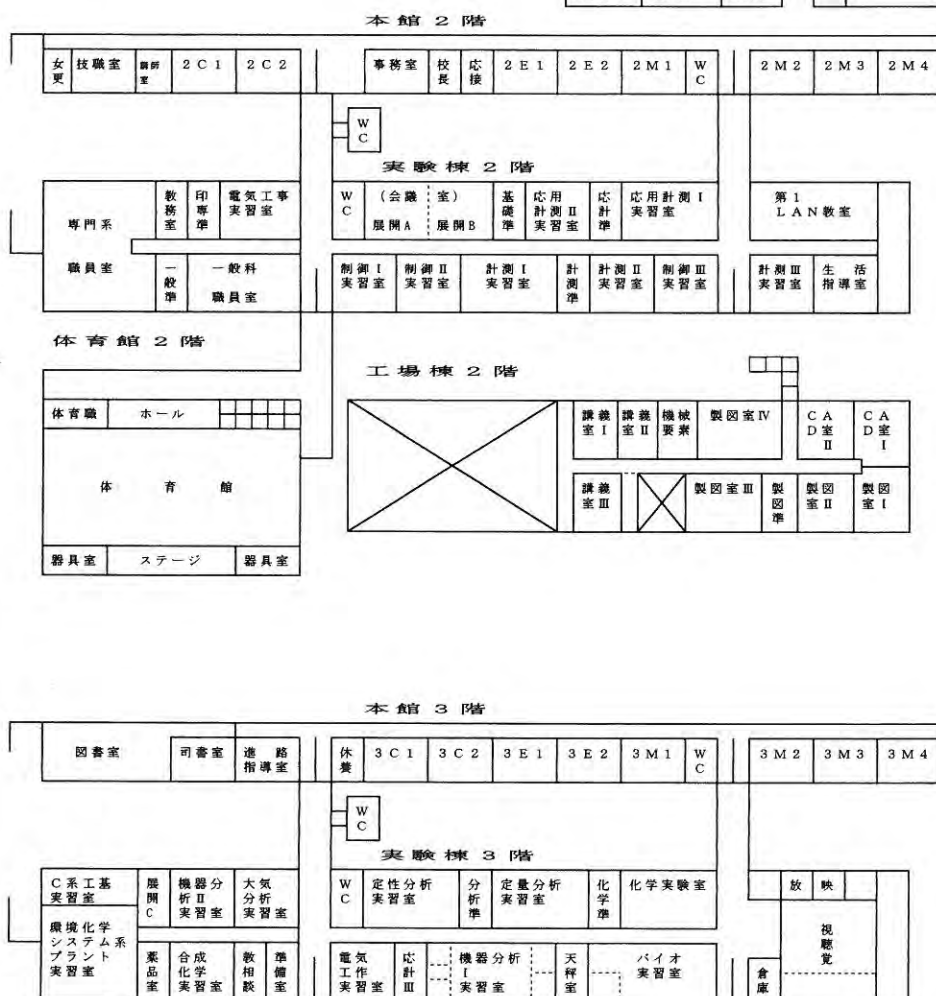
大阪府立茨木工科高等学校 配置図 (平成19年度)



新実習棟 家庭科棟1階



大阪府立茨木工科高等学校 配置図 (平成19年度)



新定時制棟 家庭科棟2階



正門より校名板



通用門



新専門系職員室 (三科共通職員室)



新実習棟 (2F) ・ 奥：家庭科棟

工科高校設置に伴い校舎配置(教室)が変更されました。

工科高校に整備された新しい機械・実習装置



CNC旋盤（ターニングセンタ）
平成16年3月 整備



← PLC実習装置
平成17年3月 整備

パソコン画面上でPLCのプログラムを作成し生産ラインを制御することを学習します。

MC（マシニングセンタ）→
平成18年3月 整備

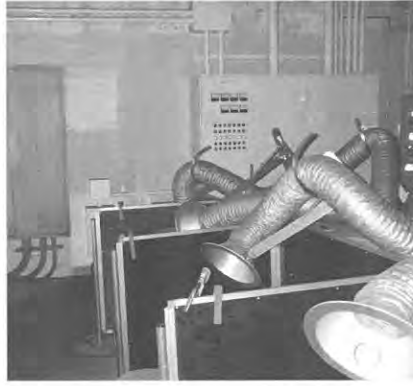


一年生の溶接実習（工業基礎）→
平成16年3月 改修

旧鍛造工場（手仕上げ）から溶接工場へ改装しました。

← ロボドリル
平成15年3月 整備

CAD/CAM学習装置として、旧FA実習装置から更新しました。三次元CADで描いた図面を加工データに変換し、本機で加工します。



CAD 平成8年～ 整備
リース契約で6年毎に更新



高圧実験装置
高電圧の放電実験ができます。



同期電動機（モータ）と発電機
電気系になって色々な種類の電動機と発電機が整備されました。



ガスクロマトグラフ分析装置
気体状試料の定性・定量分析



電気工事实験室
壁のパネルで実際の電気工事と同様の工事を練習できます。



蛍光X線分析
周期表のNaからUまでの元素分析



PLC（シーケンサ）実習装置
エレベータや信号機の制御を模型を使って勉強できます。



植物油燃料化プラント

酵素を用いた特殊な方法で廃食油からバイオディーゼル燃料を製造する装置



イオンクロマトグラフ
水中の陽イオン・陰イオンの分析



自己負担（3割）、入院諸費用、高度先進医療費用および最新医薬品投与費用を補償する医療保険特約 新発売。
あなたの「生きていくための保険」です。

お問い合わせは 諏訪保険事務所 06(6849)7915まで (店主 諏訪年信 20C科)



旭商工株式会社



機械・工具総合商社

【本社】
高槻市玉川3丁目11番15号 TEL072-678-0881(代)
URL: <http://asahi.astt.co.jp/>
■設立年月日：昭和39年2月1日 ■社員数：50名

【営業所】
大阪営業所・寝屋川営業所・滋賀営業所・京都営業所
創業以来、様々な企業形態に適応し、当社は着実に歩み続けてきました。21世紀を迎えた今、さらに世界へ向けて躍進しています。

代表取締役社長 山下順次

思い出は楽しい事ばかり

機械工学科 9期卒業 網谷 眞治

あの頃は、本当に「子ども」でした。未だに付き合っている何人かの友人はいますが、思い出を語る時は、何故か楽しくて楽しくて時間の経つのも忘れてしまうのです。

今五十一歳になってしまいました。あの頃は世の中の事は何も知らなくて、それでいて何の不安もなく、自分が「子ども」であることも知らなくて、未来は限りなく美しく、限りなく豊かで、限りなく面白いものと思ひ込んでいました。そんな自分を先生方はどう思っておられたかはわかりませんが、担任の大西先生をはじめ沢山の先生方に大事にしていたいただいた記憶ばかりあります。

いただいたお礼です。当時は本当に「子ども」だった私ですが、素晴らしい高校生活を送らせていただき、楽しい思い出を沢山の先生方と作らせていただき、本当に感謝しています。これからも素晴らしい茨木工業高校と先生方のご健勝を祈っております。

楽しい思い出を沢山作っていただき、本当にありがとうございます。

母校だより

茨木工業高校として完成年度を迎えましたが、各部門とも茨木工業高校の伝統を引き継いで活動を継続し、また、よく頑張つて成果を残しています。

特筆すべきことは、文化部

この内容は文化祭のオープニングセレモニーでも紹介・発表され、全国的にもトップレベルのこの取り組みに大きな拍手が送られました。

また、自転車競技部は毎年のように近畿大会・インターハイ・国体に出場しています。毎日放課後、中庭の渡り廊下で熱心に練習に取り組む自転車競技部の姿を見ることができ、その努力が大きな成果を生んでいるのです。

本校生の多くは放課後も遅くまで残って実習レポートの課題などに取り組んでいます。どのクラブの部員もそういう課題を終えてから練習に取り組みます。その意味で本校生は立派だと思えます。それだけでなく、本校には工業高校特有のクラブも含まれて多彩な部・同好会があります。その多様性に茨木工業高校の伝統を見ることができ、本校生は恵まれていると感じます。

大阪府立茨木工科高等学校の部・同好会の活動

特別活動指導部 森田 利男

H16年度～H18年度 転退職された先生			
平成16年度			
氏名	転勤先	氏名	転勤先
横谷 啓介	今宮工頭	佐藤 智康	城東 工
武田 正昭	学校管理課	森岡 寿都代	城東 工
中島 節子	豊中保健所	坂谷 義馬	布施 工
正端 義弘	吹田 保	平成18年度	
小早川 真一	東 定 川	小原 幸四郎	退 職
伊藤 秀子	西 野 田 工	西田 哲世	島 本校長
山下 大輔	堺 工 工	山田 亨	茨木西教頭
大森 浩一	布 施 工	松嶋 まり子	退 職
田中 逸郎	可 児 工	吉村 博文	退 職
平成17年度			
氏名	転勤先	氏名	転勤先
土橋 茂紀	北 野 (定)	風能 敏雄	東 川 工
喜田 茂夫	西 野 田 工	三谷 正平	命 館 高 工
上田 良太郎	泉 北 川 工	押川 幹生	立 飾 中 工
西村 章	東 定 川 工	森 仁志	津 川 工
山本 文彦	茨 木 西 職	中畑 光征	退 職
木下 芳広	退 職	根前 雅仁	東 寝 屋 丘
上田 和雄	退 職	小寺 功治	東 春
		田中 平井	

部・同好会名	部員数	昨年度の成績	今年度の抱負・目標	今年度の抱負・目標
陸上競技部	13	400mH、ハンマー投げ地区予選通過、実業総体総合6位、走高跳優勝、110mH3位	各選手、自己ベスト記録更新	ハンマー投げ地区予選通過、大阪大会出場
水泳部	6	実業総体団体 5位	実業総体で総合3位以内に入る。市民大会で多くの人が3位以内に入るようにする。大阪府下の大会で決勝に残る。	
硬式テニス部	45	実業総体 団体優勝・個人単・復優勝/府大会中央大会出場	実業総体団体戦優勝 各試合で本戦出場	茨木市内、第1学区大会で本戦出場
卓球部	10	大阪高校総体参加/大阪高校新人大会参加		
バスケットボール部	21	インターハイ予選3回戦進出/実業総体参加/大阪高校総体2回戦進出/大阪高校新人大会参加	まとまりのあるチームを作り大会で一つでも成績を残すこと	インターハイ予選出場
バドミントン部	19	実業総体団体準優勝、個人単・復準優勝	実業総体団体、個人単・復で優勝	インターハイ予選出場、シングルスⅡ部で最終日に残る
山岳部	9	夏山合宿(北アルプス縦走)	合宿を成功させることと、できるだけ多くの山に登ること	
剣道部	11	実業総体 個人優勝、団体優勝/団体大阪府代表選手派遣/インターハイ予選団体ベスト8、個人ベスト16/近畿大会 団体ベスト16、個人ベスト16/茨木市長杯個人優勝/北摂剣道大会優勝/新人戦(個人)2位/インターハイ予選・近畿大会予選(女子)5位	インターハイ出場	インターハイ予選男子団体ベスト16
柔道部	7	実業総体3位		
サッカー部	26	実業総体優勝/インターハイ大阪予選・全国サッカー選手権大阪予選出場	公式戦で一つでも多く勝つ	インターハイ予選出場
ラグビー部	19	大阪府10人制大会 予選リーグ優勝、決勝リーグ出場	全国大会大阪府予選3回戦進出。近畿大会大阪府予選3回戦進出	
自転車競技部	9	インターハイ、近畿大会出場/新人大会団体2位	インターハイ出場や各大会で良い結果を出す	近畿大会出場4名(チームスプリント4位、ケイリン6位) インターハイ出場(ケイリン)
硬式野球部	31	春期大会1回戦/選手権大阪大会3回戦/秋季大会1回戦		春期大会2回戦/選手権大阪大会1回戦
スポーツフィッシング部	1	兵庫県小橋大会 個人3位、5位		
ハンドボール部	0	休部中		
女子バレーボール同好会	0	休部中		
写真部	11	春・秋写真撮影会参加、写真技術講習参加、芸術祭参加作品制作大会参加、校内文化祭出品(半切20枚)、大阪府高等学校芸術文化祭出品(全紙7枚)、大阪写真月間出品	芸術文化祭出展、および賞状を取る	朝日新聞6/19版に部員が撮影した写真が掲載される
美術部	8	第2ブロック展、輝賞/2006おさかな絵画コンクール、大阪府教育委員会賞・入賞/大阪府高等学校美術工芸展・芸術文化祭、出品	多くの作品を制作し、出品すること。多くの展示会・コンクールへの出品・入賞	
演劇部	9	SDF大賞・舞台装置賞・個人演技賞、合同公演、単独公演	SDF、及びコンクールでの入賞	SDFのための練習
放送部	10	みのおFM高校紹介出演/放送コンクール NHK杯出場		
コンピュータ部理科研究部	10		専門知識とともに一般常識の習得に努める	
理科研究部	5	計算技術研究会 個人優勝、団体3位/ジャパンマイコンカーラリー全国大会代表・近畿大会決勝トーナメント進出/サイエンスフェスタ優秀賞	マイコンカーラリー近畿大会入賞	マイコンラリー、サイエンスフェスタの準備中
軽音楽部	27	三木楽器主催 スノーカーエイジ 軽音楽部系コンテスト参加	今年度は多くの1年生が入部し、バンド数も全体で5バンドになった。昨年度に加盟した高等学校軽音楽連盟主催のライブに、今年度は積極的に参加する	
将棋同好会	1	文化祭で将棋大会を実施	全員1年生だが、活動を盛り上げていきたい	
漫画研究部	21	第13回全国高等学校「漫画甲子園」応募	まんが甲子園に入賞しよう	
調理部	11	文化祭で従来の「粉もの」から脱却して洋菓子に挑戦。マーブルケーキとアップルパイを販売。また、高圧装置を手作りし、初めてベーコンを作る。	今年度は素材作りから挑戦。ミニトマト、きゅうり、なす、サツマイモ等を栽培→収穫→調理して食と農の関係を学ぶ	
環境倶楽部	9	2005、06年ものづくりコンテスト化学部門近畿大会優勝(全国大会出場)/高校化学グランドコンテスト審判員賞受賞/危険物取扱者・公営防止管理者等、国家資格取得	高校化学グランドコンテストに向けての研究、BDFの研究	
機械研究部	4	2006WEM、GP戦101台中23位、'06エコデレース 93台中31位・59位・62位、エコ・カーフェスタ 2004EJクラス2位、WEM in とよたEJクラス8位/2003エコデレース デザイン賞受賞	部活動の持続! 昨年度のレース成績より向上するように頑張る!!	11月のエコデレースに向けて準備中 9月末、泉大津フェニックスにてWEM参加します
西書部	4	大阪府高等学校図書選手権大会 個人戦3年の部3位、Cクラス4位、Bクラスベスト8入賞 団体戦2チーム参加	団体戦10位以内	団体戦、大阪府10位
鉄道研究部	0	休部中		
アマチュア無線部	0	休部中		



着任挨拶

校長 森 均

茨木工業高校同窓生の皆さん。四月一日付で着任しました。森均（もりひとし）と申します。何卒よろしくお願いたします。

電気工事士、危険物取扱者、工事担任者、電気主任技術者などの資格取得を指導しながら、進路指導の仕事も長くしていました。

私は、工業高等専門学校の電気工学科を卒業後、家電メーカー勤務を経て大学、大学院に進みました。その後、産業用半導体メーカーに勤務し、三十歳の時、城東工業高校全日制課程電気科の期限付講師になり、その年の採用試験に合格して教諭に採用されました。教諭時代は、発電、送電、変電、電動機、電気工事、ポケットコンピュータの使い方、ワープロ、表計算などを教え、

文化祭のお知らせ

第45回文化祭を開催いたしますので
ご案内させていただきます。

日時:平成19年11月10日(土) 午前10時より

今後の文化祭案内はがきについて

- (1) 卒業後3年間は文化祭案内はがきを送ることと決定する。ただし新聞発行年は新聞にて通知することを決定する。
- (2) 文化祭案内…3年以上前の卒業生の方については基本的にはホームページで確認してください。ただし、希望者には引き続きはがきを送りますのでご一報ください。

進路指導部より

進路指導主事 河野吉則

ん高等専門学校に移り、同時に堺高等学校高等部も吸収しましたので本当に大変でした。したがって、生野高等専門学校で三年間、だいいせん高等学校で一年間校長を務め、本校に異動してきたことになりました。

本年度は工科高校の完成年度を迎え、来年三月には茨木工科高校として初めての卒業生を社会に輩出することになります。工業高校から工科高

校への改革の成果が問われることになりました。学校名は変わりましても皆様方が築いてこられました伝統を礎に現在の茨木工科高校があることに変わりはございませんので、何卒ご支援をお願いいたします。

なお、学校の様子は本校のWebページに掲載してありますのでご覧いただければ幸いです。

卒業生の皆様方におかれましては、いかがお過ごしのことでしょうか。茨木工業高等学校(全日制)最後の卒業生は、就職に関しては昨年中に学校幹旋の内定が出そろい、進学に関してはほぼ希望を叶えることが出来ました。また、茨木工科高等学校の一期生は、いよいよ進路選択の時期を迎えますが、二〇〇七年問題や、好景気に支えられて求人社数は年々増加しています。また進学の間でも工科高校推薦入試をはじめ多くの指定校枠を戴いており、先人方の努力の賜と感謝しています。

今世の中を支える事が出来ません。また、入社試験の面接時に意欲や元気の不足を指摘される傾向も続いています。今後十年、二十年が過ぎ、今働いている大人に代わって一人で生きていける力をつける為にキャリア教育という考え方が出てきました。が、職業観を育成し勤労意欲を高めるという観点から教育を見直そうという事で、以前から行われていた教育活動でもあります。本校でも、就業体験(インターンシップ)や工場見学、卒業生を囲む座談会などの取り組みを通じてキャリア教育を推進していますが、これらには企業などの協力が不可欠です。

卒業生の皆様は、地域の方、企業の方、そして保護者の方と様々な側面をお持ちです。で、学校との連携を深め、良き伝統が工科高校にも引き継がれていきますよう、御協力をお願いいたします。

編集後記

二年に一回新聞を発行する、ということが決まったような決まっていなような所から今回の新聞製作は始まりました。何事もやらない方が楽なのですが、喜んでいただいている方も多く聞いて頑張っております。当初、今回の新聞は五月頃には発行したかったのですが、多忙にかまけ、僕がダラダラしていてこんなにも遅れてしまったのです。記事については今回、卒業生の皆様に伝えたい事が多く、卒業生やOBの先生方、写真は川崎氏、そして各系、各部の先生方にも協力していただきました。その御陰もあって、今回は前回の二倍のページ数となりました。今振り返ってみると、もっとこうすれば良かったと思うことが多々あります。この気持ちを次回に生かそうと思うのですが、前回も同じ事を思った事を思い出します。そしてまた二年が経ち、この気持ちが薄らいだ頃にまた新聞製作が始まるので

次回には創立五十周年準備号となり、今から色々な企画が出ております。編集部では卒業生の方々の寄稿や、こんな事を記事にして欲しいという要望を募っております。また、知り合いの方で新聞が送られて来ないということも有りましたら、左記アドレスまでご一報下さい。

茨陵会(同窓会)事務局
大阪府立茨木工科高校内
電気系 三谷兼一郎
auar2909@wombat.zaq.ne.jp

印刷全般

増原印刷

〒567-0881 茨木市上中条2丁目1-16 TEL:072-627-1417 FAX:072-627-1540 E-mail:goophy@hcn.zaq.ne.jp

茨陵会から視聴覚教室に エアコンを寄贈

平成 18 年度当初（平成 17 年度予算）に工科高等学校完成記念および、創立 40 周年の記念行事の一環として、実習棟三階視聴覚教室に 10 馬力のエアコン 2 台を寄贈いたしました。（下記写真）

その見返りといっは何ですが、本校の旧一般科職員室の一部を PTA および同窓会資料室・会議室として学校より準備していただきました。

学校にお立ち寄りの際には、校内理事にお声を掛けていただければ、ご案内いたします。

